

政経クラブ 梶原 正憲 議員

1 財政について

- (1) 「ひとが元気、まちが元気、未来へつながる健康都市かのや」の実現に向け、5つの基本目標に加え「鹿屋市人口減少対策ビジョン」や「第2次かのや農業・農村戦略ビジョン」等に基づいた施策、事業を着実に推進する予算として、令和5年度の鹿屋市一般会計当初予算は過去最大の580億2千万円となっている。今後予想される公共施設等総合管理計画など、歳出増が考えられるが、今後の財政運営に対する考えを示されたい。

2 鹿屋市「市史」編さん及びバーチャルミュージアムの設置について

- (1) 鹿屋市史「上巻・下巻」の発刊以後の歴史を再確認すると共に、郷土の歴史や文化に対する理解を深め、郷土愛の醸成を図るため、新たな「鹿屋市史」を編さんする時期に来ていると考えることから見解を示されたい。
- (2) バーチャルミュージアムの設置の考え方を示されたい。
また、今年度事業の「かのや風土記」の進捗状況を示されたい。

3 都市計画道路「寿大通線」と市道「東原線」の整備について

- (1) 寿大通線は、鹿児島空港、東九州自動車道等へのアクセス道路並びに地域幹線道路として都市計画決定から約30年経過しており、地域発展や安全・安心対策上からも早期完成が望まれるところであることから第2期工事計画の進捗状況を示されたい。
また、第2期工事以降の国道269号までの見通し及び国道220号までの事業化への展望を示されたい。
- (2) 東原線の笠野原地区における歩道新設についての考え方を示されたい。

政経クラブ 梶原 正憲 議員

4 上水道事業について

- (1) 人口減少や施設の老朽化・耐震化に伴う課題などに対応し、持続可能な水道事業の経営を推進するため「鹿屋市水道事業ビジョン」が策定され、5年目を迎えている。前年度の評価結果を踏まえ、基本目標である「持続」「安全」「強靱」に基づいた取組を遂行されていると考えるが、コロナ禍、資材・物価高騰、気象変動などの現状から財政・投資面の懸念もある中、目標達成に向けての所信と令和5年度の主要政策などを示されたい。
- ① 自然災害や凍結等による水道管路の漏水、破裂事故の状況を示されたい。
 - ② 新水道ビジョンにおける管路の老朽化、耐震対策をどのように進めていくのか。
 - ③ 水道施設への侵入防止対策として監視カメラ設置の見解を示されたい。
 - ④ 窓口業務などの包括業務委託の調査、検討の進捗状況を示されたい。

5 がん教育について

- (1) 学習指導要領の改訂により令和2年度から小学校、令和3年度から中学校、令和4年度の高等学校新入生から、保健体育で「がん教育」を全面実施することが明記されているが、これまでの取組状況と課題について示されたい。
また、外部講師派遣などの支援事業について示されたい。
- (2) 地域の実情に応じた「がん教育」を実施し、自分と他者の命と健康を大切にすることを更に充実・強化・推進させるため、今後の方向性について示されたい。